

地震による落下物や転倒物から子どもたちを守るために

～学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック～ (概要)

(平成22年3月)

文部科学省大臣官房文教施設企画部施設企画課防災推進室

背景

学校施設は、子どもたちの活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急避難場所となることから、その安全性の確保は極めて重要であり、現在、全国の学校において建物の構造体の耐震化が進められています。

一方、近年発生した大規模な地震では、天井材の落下などいわゆる『非構造部材』の被害が発生しています。また、これらの被害は、構造体に被害が軽微な場合も生じる可能性があります。

『非構造部材』とは？

…天井材、内装材、
照明器具、窓ガラス、
書棚等



大規模な地震
の発生



主な内容

学校設置者及び学校が各役割を理解し、関係部署や専門家とも連携して点検及び対策に取り組めるよう、非構造部材の耐震化の重要性とともに、その点検及び対策の進め方や実施体制、点検内容等についてわかりやすく解説しています。

非構造部材とは…

地震による非構造部材の被害事例
計画的・実効的な点検・対策の進め方
関係者間の連携等の体制づくり
点検・対策マニュアル

・点検項目

天井／照明器具／窓・ガラス／外装材／
内装材／設備機器／テレビなど／収納棚など／
ピアノ 等

・点検チェックリスト

学校用／学校設置者用

学校設置者及び学校の役割に応じて構成

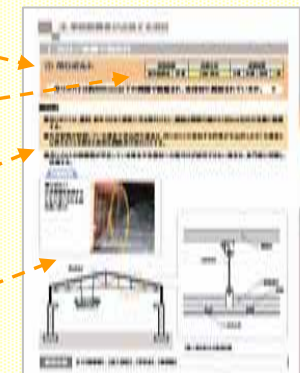
点検・対策マニュアル(例)

点検項目を示しています。

各点検項目の対象施設、方法、時期の目安を示しています。

点検時の留意点や対策方法等を解説しています。

図、写真等を用いて、点検する部分や被害の事例等をわかりやすく示しています。

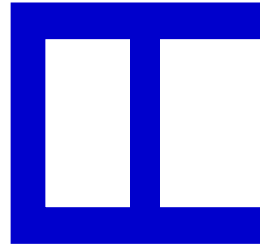


< 参考 > ガイドブック本体は文部科学省ホームページに掲載しています。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/shuppan/1291462.htm

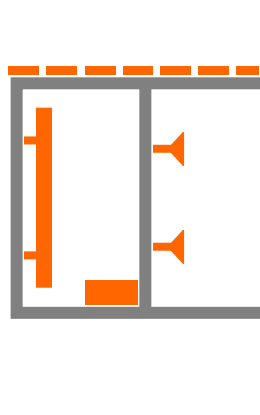
非構造部材の定義

非構造部材とは・・・

- 構造設計・構造計算の主な対象となるいわゆる構造体（骨組み）と区分した天井材、外装材、照明器具、家具等のこと。



構造体



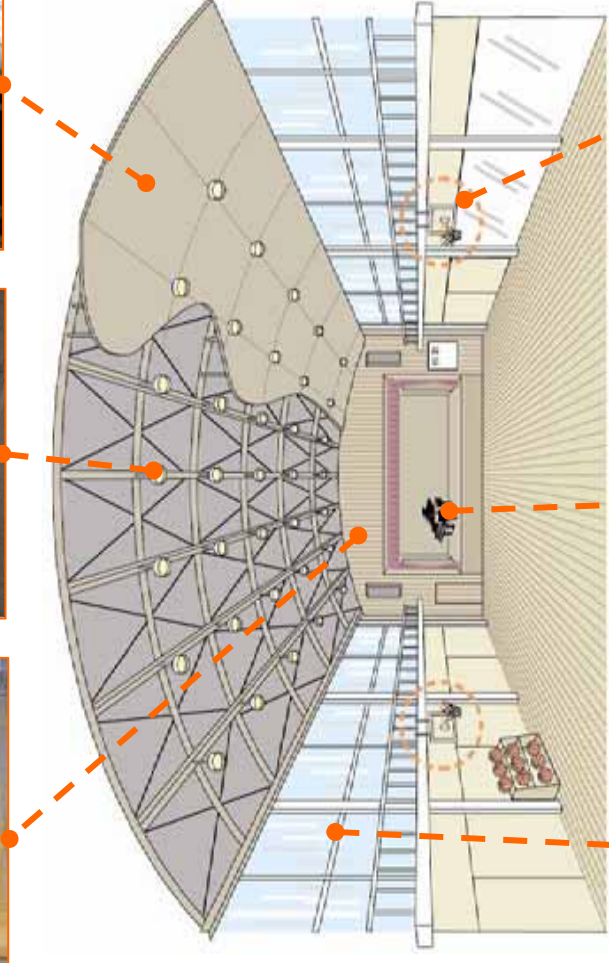
非構造部材



内壁(内装材)

照明器具

天井



外壁(外装材)

窓ガラス

家具(ピアノなど)

設備機器



非構造部材の耐震化のための体制づくり

点検・対策の体制

- ・学校設置者が中心となり、学校、設計実務者等の専門家及び関係部署と連携する。
- ・改善の必要性の判断が困難な場合や対策の手法の選択が難しい場合があるため、専門家を活用する。

各点検主体の役割

学校(学校職員)

施設の日常的な使用者として、日々活動する中で施設・設備の不具合を見つける。

学校設置者

点検方針等を定め、学校、専門家等との全体的な調整を行う。

専門家の活用

建築の専門的知識をもとに、対策の必要性や手法について判断。

